

47歳、4児の子育てをしている父親です。常日頃、子ども達には、身の周りにある一つ一つのことを大切に、心豊かに人生を歩んでほしいと感じています。

先日、沼津中央公園と狩野川両岸で開催されました「沼津自慢フェスタ2023」に参加しました。初日はボランティアスタッフとして、2日目は家族と楽しむ客として。沼津市内の魅力的なヒト・モノ・コトが4年ぶりに集ったということもあり、普段見慣れた身近なものたちもハレの場らしく、非日常な表情を見せ、素敵な空間が広がっていました。

私は慌ただしく動き回る日常を送っていますが、このイベントに携わった両日は、ゆっくりと会場内を歩き、ゆったりと時間を過ごしました。そんなこともあって、移ろいゆく時間と空間を感じつつ、多くの方々のし

きる豊かなさとして、感じました。今日における「豊かさ」とは何でしょう。つい数十年前までは、経済成長に支えられた豊かさが多くの人々が同意で

くさや表情を目にし、様々な音や会話を聞くことができませんでした。来場者の喜びの声、笑顔、出店者の熱意、主催者の情熱。そこに溢れる温かさと共感、未来を展望する記憶として、会場にいた方々の心に刻まれたので

地域の遺伝子を磨く

飯田理一郎

ではないかなと感じました。そして、私はそこに「豊かさ」を感じました。

ただけるのではないかなと感じます。資本主義社会における、大量生産、大量消費。身の周りにも同じものが溢れ、ヒト・モノ・コトが同質化されていく社会。個人の「かけがえのなさ」があやしくなり、空虚な感覚

を覚える。寂しい。現代社会における心の豊かさとは、「かけがえのない自分」を実感できることではないかなと私は考えます。かけがえのなさは、自分ひとりでできることではありません。いろいろなものと結びながら、関係を生み出していき、かけがえのないものになっていく。

きたる10月1日沼津御用邸記念公園東附属邸で、小学生を対象とした「はじめのお茶会」が開催されます。(幼稚園児、家族も可)

1人500円で予約が必要です。申込先は事務局の長興寺(電話966-0125)です。

沼津には、素晴らしい自然があり、そこで育まれた様々な食材があり、豊かな文化があります。一つの魅力を感じ、大事にし、伝えたい。お互いが、かけがえのない存在になっていく。私が自慢フェスタで感じた豊かさとは、そう

(原町中)

組合 長か 贈ら 自 動車 業種 000 組合 環と による 行 して 約が 必要 申込 先は 事務局 長興寺 (電話 966-0125) 日本庭園・お茶・松風 魅力と「かけがえのなさ」を感じて いた だ きたい です。 地域の 遺伝子 を 磨く ように、 ゆ っ たり と。 皆様 の ご 来 場 を 心 より お 待 ち して お り ます。 (原町中) 納涼